

Panasonic®

取扱説明書

2016年度版 HDDナビ全国地図データ更新キット
HDS910・940・960シリーズ用



 Strada

品番 **CA-HDL166D**

対応機種

CN-HDS910TD
CN-HDS915TD
CN-HDS940TD
CN-HDS945TD
CN-HDS960TD
CN-HDS965TD



ご使用前に、「安全上のご注意」(P.3ページ)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書およびナビゲーションの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この説明書は大切に保管してください。

はじめに	
安全上のご注意	3
はじめに	4
準備	
バージョンアップする	6
●バージョンアップを中断するには	6
初期設定	7
●リヤビューカメラの映像を調整する	7
ナビゲーション	
地図の操作	8
●地図の配色を変更する(マップコンセプト)	8
メニュー画面について	8
行き先を探す	9
●探索結果メニュー	9
●おでかけストラーダとは	10
●おでかけスポットから探す(おでかけストラーダ)	11
●おでかけプランを利用する(おでかけストラーダ)	12
●以前に検索した地図から探す	13
ルート探索について	13
●探索条件について (高速道優先 / 一般道優先 / おまかせ)	13
ルートを編集する	14
●出発地を追加・変更・消去する	14
●目的地を追加・変更・消去する	15
●経由地を追加・変更・消去する	16
●通りたい道路を「おまかせ」に設定する	16
●順路を自動的に設定する	17
ルートを確認する	18
●ルート確認画面	18
●探索条件 / ルート変更画面を表示する	18
●別ルート探索する	19
●渋滞を考慮したルートを作る (渋滞データバンク探索)	19
オーディオ	
オーディオの基本操作	20
●時計を表示させる	20
●時計を消去する	20
●サブディスプレイ表示について	21
ディスクを再生する	21
●DVD / ビデオ CD の基本操作	21
HDD MUSIC を再生する	22
●アルバム・曲を消去する	22
音楽データの情報を編集する	23
●アルバム・曲の情報を見る	23

BLUETOOTH® 対応機器と組み合わせる	24
●Bluetooth ユニットと接続する	24
●Bluetooth ユニットの接続を確認する	25
●BLUETOOTH 対応機器と 組み合わせることができること	26
●必要な機器	26
●BLUETOOTH 対応機器を ナビゲーションに登録する	26
BLUETOOTH Audio を再生する	28
●BLUETOOTH Audio に切り換える	28
●BLUETOOTH Audio の基本操作	28
●一時停止する	28
●曲を頭出しする	29
●早送りする	29
●BLUETOOTH 登録情報を確認する	29
●BLUETOOTH パスキーを変更する	29
●BLUETOOTH Audio の登録情報を消去する	30
ハンズフリーで通話する	30
●ハンズフリー通話するときは	30
●ハンズフリーに切り換える	30
●ナビゲーションに登録した携帯電話と接続する	31
●ハンズフリーの基本操作	31
●Bluetooth ユニットでの操作	32
●かかってきた電話に出る	32
●電話をかける	32
●通話を携帯電話に切り換える	36
●受話音量を調整する	36
●電話を切る	36
●ハンズフリー通話時の ルート案内音声を設定する	36
●着信音量を設定する	37
●ハンズフリーを OFF にする	37
●ハンズフリー登録情報を確認する	38
●BLUETOOTH パスキーを変更する	38
●ハンズフリーデータを消去する	38
BLUETOOTH Audio 操作に関するボイスワード	39
●BLUETOOTH Audio に切り換える	39
●曲を頭出しする	39
別売品	
ETC 車載器と接続して使う	40
●料金履歴のリストを表示する	40
必要なときに	
●利用に応じた設定に変える	40
●音声 / 映像の設定を変え	42
●故障かな!?	44
●BLUETOOTH について	48
●ナビゲーションで再生できるデータ	49
●地図データベースについて	50
●ジャンル一覧表	52
●Gracenote データベースについて	54
●商標などについて	55

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。
交通事故の原因となります。

車庫などの密閉された場所でバージョンアップを行わない

換気の悪い場所で長時間エンジンをかけ続けると、一酸化炭素中毒の原因となります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因となります。

はじめに

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- 年度更新用地図ディスク
- 更新セットアップ用SDメモリーカード
- 取扱説明書(本書)

本書の読みかた

- この説明書は、バージョンアップを行うことにより追加・更新される内容についてのみに説明しています。基本的な操作方法などは、ナビゲーションの説明書をご覧ください。
- 本書では、今まで一度もバージョンアップを行ったことのない方に対しても説明していますので、過去にバージョンアップを行った場合は、本書に記載されている新機能がすでに搭載されている場合があります。

■ CN-HDS910TD、CN-HDS940TD、CN-HDS960TD

過去にバージョンアップをしていない場合、地図の更新と新機能の追加が行われます。過去にバージョンアップをしている場合、地図の更新のみ行われます。(機能の追加・変更・削除はありません。)

■ CN-HDS915TD、CN-HDS945TD、CN-HDS965TD

地図の更新のみ行われます。機能の追加・変更・削除はありません。

- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

主な更新内容

■ 地図データベースを更新

- 2015年度の索引情報を収録*
- 高速・有料道路情報は2015年5月開通分まで対応
・上記以外で開通を対応した区間:
首都圏中央連絡自動車道(圏央道).....神崎IC~大栄JCT
京都縦貫自動車道.....京丹波わちIC~丹波IC
- 2015年4月現在の市町村合併に対応

※ 2015年1月版のタウンページ、2015年3月版のハローページのデータに更新
2015年5月版のトヨタマップマスター住所索引データに更新

ご使用の前に

- 本製品は、CN-HDS910TD、CN-HDS915TD、CN-HDS940TD、CN-HDS945TD、CN-HDS960TD、CN-HDS965TD 専用です。
- 年度更新を完了させるまで、ナビゲーションとして使用できません。更新セットアップ用SDメモリーカードと年度更新用地図ディスクをナビゲーションに挿入して年度更新を完了させてください。
- 本製品でバージョンアップできるナビゲーションは、1台のみです。複数のナビゲーションをバージョンアップする場合は、台数分お買い求めください。
- バージョンアップ後は、バージョンダウンできません。
- 更新セットアップ用SDメモリーカードは、年度更新完了後も、通常のSDメモリーカードとしてお使いにならずに、大切に保管してください。何らかの理由で、ナビゲーションの地図データやプログラムが破損・消失した際に、リカバリーするための備えとして必要です。

■ 当社ダウンロードサイトのプログラムについて

2015年11月以前に当社ダウンロードサイトにアップロードされたプログラムを、年度更新後のナビゲーションにインストールすると、正しく動作しなくなるおそれがありますので、絶対にインストールしないでください。もし誤ってインストールした場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ お気に入りジャンルの設定について

年度更新すると、お気に入りジャンルの設定がナビお買い上げ時の設定に戻ります。更新前にメモを取り、再度設定を行ってください。

メディアの取り扱い

- ディスクの汚れ・ゴミ・傷やピックアップレンズの汚れなどで、ディスクの読み込みが悪くなり、バージョンアップできない場合があります。そのときはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ケースから出し入れするときは、ディスクの記録面やSDメモリーカードの端子部に指紋や傷をつけないでください。
- ラベル面に紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
- 使用しないときは、ゴミなどの汚れや傷・そりなどを避けるため必ずケースに入れて保管してください。
- 長時間直射日の光あたるところ(車のシートやダッシュボードの上など)、湿気やゴミ・ほこりの多いところに放置しないでください。

免責事項について

- このディスクおよびSDメモリーカードの内容を無断で複製、複写または変更することを禁止します。
- お客様の複製、複写または変更による損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- この地図データは、調査・作成時期などの都合で、現状のものと異なる場合があります。また、その後の道路の変更、施設・住所の移転、住所表示の変更があった部分については、現状のものと異なる場合があります。
- この地図データは、災害の影響による道路状況や施設情報等の変化については反映されていない場合があります。
- この地図データを業務用には使用することはできません。
- この地図データがお客様の特定の目的に適合することを当社は保証するものではありません。
- この地図データの内容は、予告なく変更することがあります。
- この地図データの誤字・脱字・位置ずれなどの表記または内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
- この地図データにより、お客様にいかなる損害が発生したとしても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
・バージョンアップ時にナビゲーションに登録されていた情報(登録ポイントなど)が変化・消失した場合
・地図データの更新で道路や地形に変化のあった地域に関連するルートや地点のデータが消失した場合

大切な情報は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。

バージョンアップする

はじめに

- バージョンアップには約120分かかります。
- 走行中でもバージョンアップできます。なお、走行中の振動などでバージョンアップに時間がかかることがあります。
- アイドリングストップ搭載車の場合、バージョンアップ作業前にアイドリングストップ機能をOFFにしてください。
- アイドリングが禁止されている地域がありますので、地域の条例等に従ってください。
- エンジンをかけずに長時間ACCをONにしてバージョンアップを行うと、バッテリーが上がる原因となります。
- バージョンアップを開始すると、完了するまでナビゲーションの機能(ナビ機能・オーディオ機能)はご使用になれません。
- ETC車載器を接続している場合、バージョンアップ中は、料金案内、料金履歴などの音声案内はETC車載器より行われます。
- 更新作業中、ごくまれに「HDDが異常です」と表示されることがありますが、故障ではありません。数分後に更新作業を再開します。

1 更新セットアップ用SDメモリーカードをナビゲーションに挿入する

- 更新セットアップ用SDメモリーカードは、ロックしないでください。
- すでにSDメモリーカードが入っていないか確認してください。

■CN-HDS910TD/CN-HDS915TD/ CN-HDS960TD/CN-HDS965TDの場合

エンジンを切った状態で、
SDメモリーカードを挿入する

■CN-HDS940TD/CN-HDS945TDの場合

- 1 エンジンをかけ
(またはACCをONにして)、
SDメモリーカードを挿入する
- 2 車のエンジンを切る
(ACCをOFFにする)

2 エンジンをかけ、ディスク挿入のメッセージが表示されたら、年度更新用地図ディスクをナビゲーションに挿入する

- すでにディスクが入っていないか確認してください。
- プログラムと地図データの読み込みを開始します。(約120分)

3 プログラムの読み込みが完了したら、更新セットアップ用SDメモリーカードを取り出す

- 必ず更新セットアップ用SDメモリーカードを取り出してください。
SDメモリーカードが残ったままエンジンを切り(ACCをOFFにして)、再びエンジンをかける(ACCをONにする)と、バージョンアップが正常に完了しません。そのときは、再度バージョンアップを行ってください。

4 年度更新用地図ディスクを取り出す

5 車のエンジンを切り、再度エンジンをかける

6 する または 確認 を選ぶ

- 追加された新機能と更新された地図をご使用になります。
- インテリジェントルートのデータがある場合は、データの変換を行います。(数分かかる場合があります。)

バージョンアップを中断するには

エンジンを切る (ACC を OFF にする)

バージョンアップが完了するまで、更新セットアップ用SDメモリーカードを絶対に取り出さないでください。

■バージョンアップを再開するには

- 1 エンジンをかける
 - 途中再開画面が表示されます。
- 2 現在地 を押す
 - バージョンアップが再開されます。

バージョンアップを確認する

1 MENU → 情報 / 設定 → 情報 → システム情報 → 拡張ユニット情報 を選ぶ

2 バージョンを確認する



- 「バージョン 4HEXC**」と表示されていることを確認してください。(※には数字が入ります。)

初期設定

リビューカメラの映像を調整する

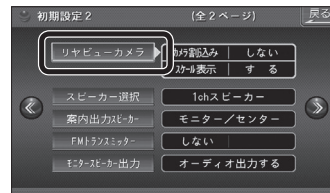
- レビューカメラの映像調整ができるようになりました。バージョンアップ時はTV/DVD(VCD)/VTRの映像調整と同じ設定値になります。
 - レビューカメラの設定(カメラ割込み・スケール表示*)は、情報 / 設定メニューの初期設定 → リビューカメラ に移動しました。
- ※「カメラスケール」から「スケール表示」に名称が変更されました。

1 メニュー画面 情報 から 初期設定 を選ぶ



- ナビ設定画面 / AUDIO 設定画面からも初期設定 を選べます。

2 <<>> で2ページ目を表示させ、レビューカメラ を選ぶ



3 ■カメラ割込みを設定する カメラ割込み する を選ぶ

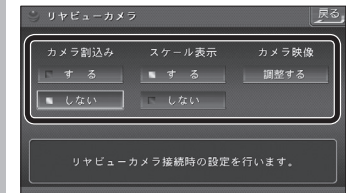
- 車のシフトレバーをリバース (R) に入れたときにカメラ映像が表示されます。

■スケール表示を設定する スケール表示 する を選ぶ

- カメラスケール調整画面が表示されます。(設定方法は従来どおりです。)

■レビューカメラの映像調整をする カメラ映像 調整する を選ぶ

手順4へ



4 設定したい項目を選び、調整する (調整範囲: -15 ~ ±0 ~ +15)

※太字は各種設定リセット / システムの初期化時の設定値です。



- 明るさ設定
 - > : 明るくなる
 - < : 暗くなる
- 色の濃さ設定
 - > : 色が濃くなる
 - < : 色が薄くなる
- 色あい設定
 - > : 緑色が強くなる
 - < : 赤色が強くなる
- コントラスト設定
 - > : 明暗の差がはっきりする
 - < : 明暗の差が小さくなる

地図の操作

地図の配色を変更する(マップコンセプト)

地図表示切替メニューからも地図の配色を変更できるようになりました。

1 現在地画面表示中に メニューを選ぶ



2 マップコンセプトを選ぶ



- 2画面時の右画面で操作した場合、**マップコンセプト**は表示されません。

3 地図の配色を選ぶ



- 選んだ配色に切り換わります。
 - ・ **カラーリング**: ルートが見やすい配色
 - ・ **トラフィック**: VICS情報が見やすい配色
 - ・ **タウン**: 市街区を色分けし、市街情報をより際立たせる配色
 - ・ **トワイライト**: 夕暮れや夜間、トンネル内など、暗い車中で見やすい配色
- 昼画面表示中は昼画面、夜画面表示中は夜画面の配色が切り換わります。

メニュー画面について

■ 行き先メニュー(主な方法)



- **おでかけストラダ**が追加されました。(※10~12ページ)

■ 行き先メニュー(他の方法)



- **検索履歴***は「行き先メニュー(主な方法)」から「行き先メニュー(他の方法)」に移動しました。(※13ページ)
- ※従来どおり、よく使う項目としてツートップメニューに登録できます。

■ AUDIO(オーディオ)メニュー



- 別売のBluetoothユニット(CY-BT200D:生産完了)*を接続時には、**Bluetooth® Audio**と**ハンズフリー**が表示されます。
- ※ iPodとBluetoothユニット(CY-BT200D:生産完了)を、同時に接続することはできません。

■ メニュー画面「情報」



- **ETC料金表示**はメニュー画面**「情報」**に移動しました。(※40ページ)

行き先を探す

探索結果メニュー

ルート探索が完了すると、探索結果メニューが表示されるようになりました。

1 行き先メニューから 行き先を検索し、 行き先設定を選ぶ



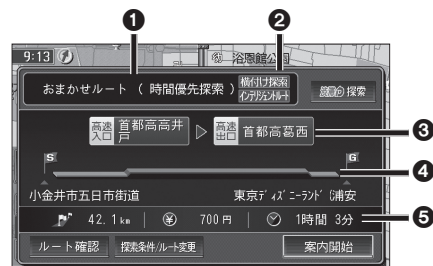
- 探索結果メニューが表示されます。

2 案内開始を選ぶ



- ルート案内を開始します。
- 車を発進させても、ルート案内を開始します。

■ 探索結果メニューの見かた



- 1 優先道路と探索条件**
(例: おまかせルート / 時間優先探索)
 - 2 横付け探索:**
横付け探索成功時に表示されます。
インテリジェントルート:
インテリジェントルートを使用した場合に表示されます。
 - 3 高速道路の入口 / 出口名**
 - 高速道路を通らない場合は表示されません。
 - 複数の高速道を通るルートでは最初の入口と最後の出口が表示されます。
 - 4 全行程の略図**
 - 道路の種類によって色分けされます。
 - ・ 緑: 一般道路
 - ・ 青: 高速道路 / 有料道路
 - ・ 橙: フェリー航路
 - 5 目的地までの距離 / 料金 / 時間**
 - 表示される数値は目安です。実際とは異なる場合があります。
- **渋滞探索**: 渋滞データバンク探索を開始します。(※19ページ)
※現在のルートが渋滞データバンクのルートの場合、**渋滞解除**が表示されます。選ぶと、渋滞データバンク探索を解除し、時間優先で再探索を行います。
 - **ルート確認**: ルート確認画面が表示されます。(※18ページ)
 - **探索条件/ルート変更**: 探索条件/ルート変更画面が表示されます。(※18ページ)

行き先を探す

おでかけストラダとは

当社ユーザーコミュニティサイト「ナビcafe」からおでかけスポットやおでかけプランをダウンロードし、ナビゲーションで利用できます。

●おでかけスポット

おすすめの施設の詳細情報・写真・バーコード(QRコード)などを添付した地点情報です。

●おでかけプラン

おでかけスポットを目的地・経由地にしたドライブコースのデータです。

・おでかけプランナー

お好みで、おでかけスポットを巡るおでかけプランを編集できます。

・おすすめおでかけプラン

当サイトがおすすめするおでかけプランです。

準備

「おでかけ旅ガイド」のサービスを利用するには、当社サイトにアクセスし、必ずユーザー登録をしてください。

URL: <http://panasonic.jp/navi/>

- ナビゲーションに付属の「仮保証書兼ユーザー登録ハガキ」でユーザー登録を行った場合も、サイトからのユーザー登録が別途必要です。詳しくは、サイトの案内をご覧ください。

お知らせ

- 現在サイトでは、下記のように名称を変更して運営しています
 - ・「おでかけストラダ」⇒「おでかけ旅ガイド」
 - ・「CLUB*Strada」⇒「ナビcafe」
- 「おでかけ旅ガイド」以外のサービスを利用するには、「ナビcafe」の会員登録(無料)が必要です。詳しくは、サイトをご覧ください。
- メニュー画面「情報」の「お知らせ」に当社サイト「CLUB*Strada」の項目が追加されました。
- 当社サイトのURLは、予告なく変更することがあります。

1 当社サイト「ナビcafe」から「おでかけ旅ガイド」にログインする

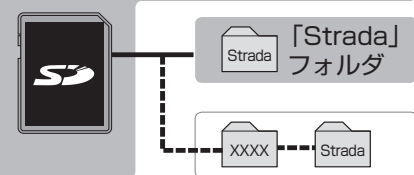
<http://navi-cafe.panasonic.jp/>

2 おでかけスポット・おでかけプランのデータをダウンロードする

3 ダウンロードしたデータをSDメモリーカードに保存する

- 拡張子:「SIG」(おでかけスポット)
「DCF」(おでかけプラン)

SDメモリーカード (ルートフォルダ)



- ルートフォルダの直下に保存するか、ルートフォルダの直下に「Strada」という名称のフォルダを作成し、その直下に保存してください。おでかけスポットとおでかけプランのデータはそれぞれ50件まで保存できます。
- ルートフォルダの直下でないフォルダや「Strada」以外の名称のフォルダには保存しないでください。ナビゲーションで認識できません。

4 SDメモリーカードをナビゲーションに挿入する

5 おでかけストラダでルートを作る

- おでかけスポットから探す (P.11ページ)
- おでかけプランを利用する (P.12ページ)

おでかけスポットから探す (おでかけストラダ)

準備

おでかけスポットのデータを、SDメモリーカードに保存してナビゲーションに挿入してください。(P.10ページ)

1 行き先メニューから「おでかけストラダ」を選ぶ



2 「おでかけスポット」を選ぶ



3 リストから「おでかけスポット」を選ぶ



- 新しい順に50件まで表示されます。
- 「説明」を選ぶと、おでかけスポットの説明が表示されます。

4 リストを表示させる順番または絞り込みの方法を選ぶ



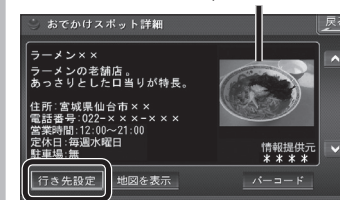
5 施設を選ぶ



- おでかけスポット詳細画面が表示されます。

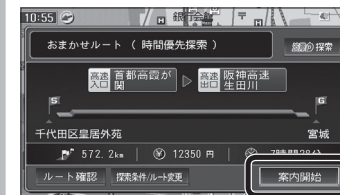
6 「行き先設定」を選ぶ

画像/バーコード情報(情報がある場合のみ表示)



- 「地図を表示」を押すと表示中の周辺地図を表示します。
- 「バーコード」/「画像」を押すとバーコード/画像情報に切り換えます。(画像とバーコード情報がある場合のみ表示)
- バーコード(QRコード)*を携帯電話で読み取ると、施設の情報が携帯電話に表示されます。
※画面の傷や汚れ、光の反射、バーコード(QRコード)のバージョンによっては読み取れない場合があります。
- 「▲」/「▼」で前/次の施設を表示します。

7 案内開始を選ぶ



- ルート案内を開始します。

行き先を探す

おでかけプランを利用する（おでかけストラーダ）

準備 おでかけプランのデータを、SDメモリーカードに保存してナビゲーションに挿入してください。(※10ページ)

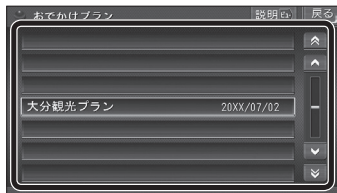
1 行き先メニューからおでかけストラーダを選ぶ



2 おでかけプランを選ぶ

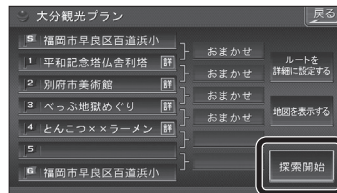


3 リストからおでかけプランを選ぶ



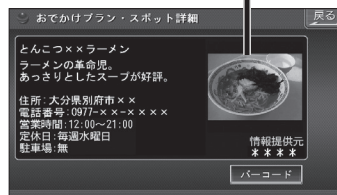
- 新しい順に50件まで表示されます。
- **説明**を選ぶと、おでかけプランの説明が表示されます。

4 探索開始を選ぶ



- **地図を表示する**を選ぶと、ルート全体の全体が広域縮尺の地図で表示されます。
- **ルートの詳細に設定する**を選ぶと、ルート詳細設定画面が表示されます。出発地・目的地の追加・変更・消去や経由地の自動順序設定などができます。(※14～17ページ)
- **詳細マークの付いた項目**を選ぶと、おでかけプラン・スポット詳細画面が表示されます。

■ おでかけプラン・スポット詳細画面 画像/バーコード情報（情報がある場合のみ表示）



- **バーコード/画像**を押すとバーコード/画像情報に切り換えます。(画像とバーコード情報がある場合のみ表示)
- バーコード(QRコード)*を携帯電話で読み取ると、施設の情報が携帯電話に表示されます。
- ※ 画面の傷や汚れ、光の反射、バーコード(QRコード)のバージョンによっては読み取れない場合があります。

5 案内開始を選ぶ



- ルート案内を開始します。

以前に検索した地図から探す

- 検索履歴が「行き先メニュー(主な方法)」から「行き先メニュー(他の方法)」に移動しました。
- 検索履歴を1件ずつ消去できるようになりました。

■ 検索履歴を1件ずつ消去する

1 行き先メニューから他の方法 → 検索履歴を選ぶ



2 上/下(または上/下)で、消したい検索履歴にカーソルを合わせる



3 1件消去を選ぶ



4 はいを選ぶ



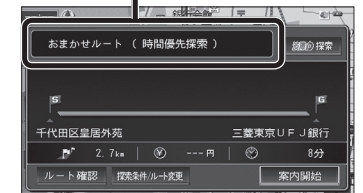
- 選んだ検索履歴が消去されます。

ルート探索について

探索条件について (高速道優先/一般道優先/おまかせ)

- 高速道優先:** 高速道路を優先して通るルートを探します。
- 一般道優先:** 一般道路を優先して通るルートを探します。
- おまかせ:** 高速道優先/一般道優先を自動で切り換えてルート探索します。(通常はおまかせで探索します。)

例: おまかせでルートを探しています。



- 優先する道路を切り換えるには、探索結果メニュー(※9ページ)から**探索条件/ルート変更**を選び、探索条件/ルート変更画面から行ってください。(経由地を設定している場合は、経由地までの優先道路が切り換わります。)
- すべての区間の優先する道路を切り換えるには、ルート詳細設定画面から行ってください。(※16ページ)

お知らせ

- 一般道優先で探索していても、有料道路を含むルートを探する場合があります。
- 「おまかせ」で探索するときの、探索レベルを設定できます。(※41ページ)
- 高速道優先で探索するときの、高速道路を優先するレベルを設定できます。

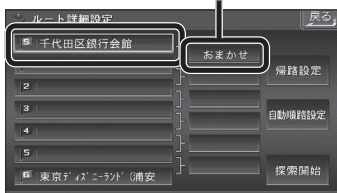
ルートを編集する

出発地を追加・変更・消去する

ルート詳細設定画面から出発地を追加・消去できるようにしました。

1 ルート詳細設定画面から S (出発地) を選ぶ

探索時に優先する道路を表示



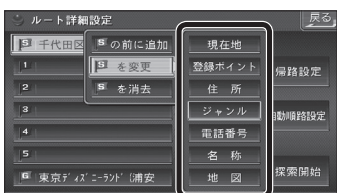
- 目的地が「未設定」のときは、目的地を設定してください。

2 Sの前に追加 Sを変更 Sを消去の いずれかを選ぶ

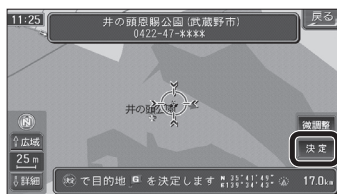


- Sの前に追加: 現在の出発地を経由地にして、新たに出発地を追加する。手順3へ
- Sを変更: 出発地を別の場所に変更する。手順3へ
- Sを消去: 出発地を消去し、経由地を出発地に設定する。手順5へ

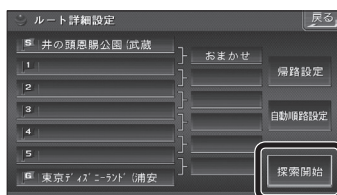
3 地図の検索方法を選び、 出発地を選ぶ



4 出発地を確認して、決定を選ぶ

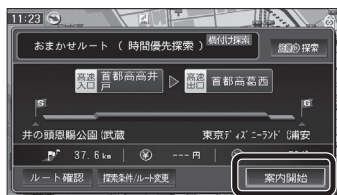


5 探索開始を選ぶ



- おまかせ/高速道優先/一般道優先を選べます。(手順16ページ)

6 案内開始を選ぶ



- ルート案内を開始します。

お知らせ

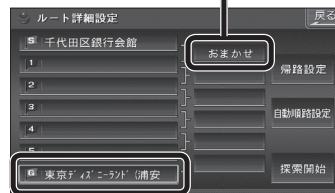
- 経由地がない場合は、出発地を消去できません。
- 経由地を5地点設定しているときは、出発地を追加できません。不要な経由地を消去してください。(手順16ページ)

目的地を追加・変更・消去する

ルート詳細設定画面から目的地を追加・消去できるようにしました。

1 ルート詳細設定画面から G (目的地) を選ぶ

探索時に優先する道路を表示



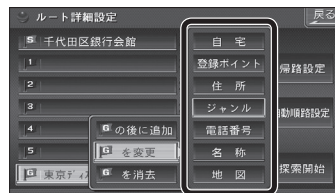
- 目的地が「未設定」の場合手順3へ

2 Gの後に追加 Gを変更 Gを消去の いずれかを選ぶ

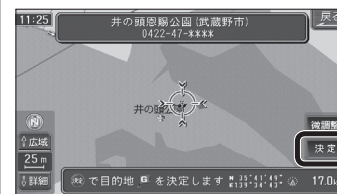


- Gの後に追加: 現在の目的地を最後の経由地に設定して、新たに目的地を追加する。手順3へ
- Gを変更: 目的地を別の場所に変更する。手順3へ
- Gを消去: 目的地を消去し、最終の経由地を目的地に設定する。手順5へ

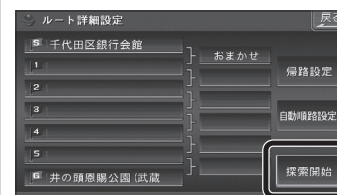
3 地図の検索方法を選び、 目的地を選ぶ



4 目的地を確認して、決定を選ぶ

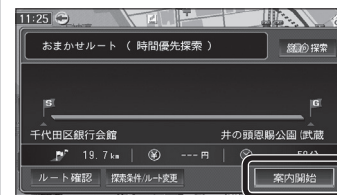


5 探索開始を選ぶ



- おまかせ/高速道優先/一般道優先を選べます。(手順16ページ)

6 案内開始を選ぶ



- ルート案内を開始します。

お知らせ

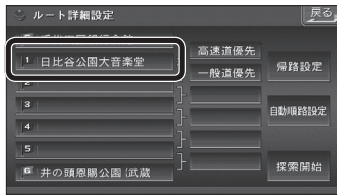
- 経由地がない場合は、目的地を消去できません。
- 経由地を5地点設定しているときは、目的地を追加できません。不要な経由地を消去してください。(手順16ページ)

ルートを編集する

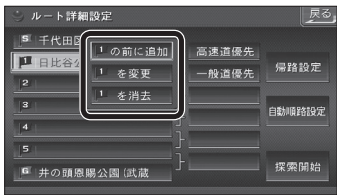
経路地を追加・変更・消去する

ルート詳細設定画面で経路地を追加・変更・消去する際のタッチキーの名称が一部変更になりました。

1 ルート詳細設定画面から追加・変更・消去したい経路地を選ぶ (例: 1)



2 「1の前に追加」「1を変更」「1を消去」のいずれかを選ぶ



- 「1の前に追加」: 選んだ経路地の前に新たに経路地を追加する。
- 「1を変更」: 選んだ経路地を別の場所に変更する。
- 「1を消去」: 選んだ経路地を消去する。

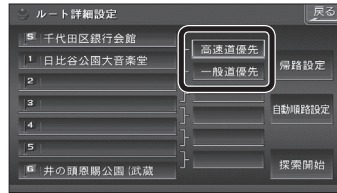
お知らせ

- 目的地を設定していない場合は、経路地を設定できません。
- 経路地を5地点設定しているときは、追加できません。不要な経路地を消去してください。
- すでに通過した経路地がある場合は、消去してください。

通りたい道路を「おまかせ」に設定する

ルート詳細設定で通りたい道路を「おまかせ」(※13ページ)に設定できるようになりました。

1 ルート詳細設定画面から道路区間を選ぶ



2 「おまかせ」を選ぶ

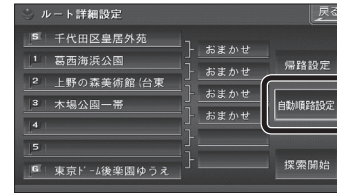


- 選んだ区間の探索条件が、「おまかせ」に設定されます。
- 選んだ区間の探索条件を、「高速道優先」/「一般道優先」に設定することもできます。

順路を自動的に設定する

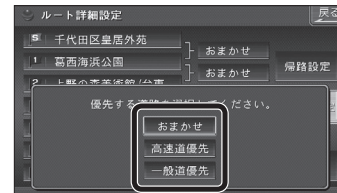
- 自動順路設定の操作性を向上させ、さらに使いやすくなりました。
- 探索条件を「おまかせ」(※13ページ)にして、自動順路探索ができるようになりました。

1 ルート詳細設定画面から自動順路設定を選ぶ



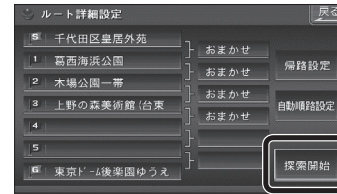
- 経路地の順番を並べ替えます。
- 自動順路設定は、全区間同じ探索条件(おまかせ/高速道優先/一般道優先のいずれか)で探索されます。
- 区間ごとに探索条件が異なる場合や、優先道路が設定されている場合は、自動順路設定の探索条件を選んでください。

「おまかせ」「高速道優先」「一般道優先」のいずれかを選ぶ

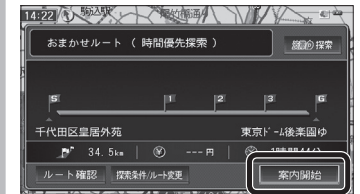


- 全区間が、選んだ探索条件に設定されます。

2 探索開始を選ぶ



3 案内開始を選ぶ



- ルート案内を開始します。

ルートを確認する

ルート確認画面

ルート確認画面が一部変更になりました。



- **ルート情報**：ルート情報が表示されます。
- **ルートスクロール**：画面をスクロールし、ルートを確認できます。
- **シミュレーション**：シミュレーションを開始します。
- **目的地付近**：目的地付近の地図が表示されます。
- **探索条件変更**：探索条件/ルート変更画面が表示されます。(※右記)
- **案内開始**：ルート案内を開始します。

お知らせ

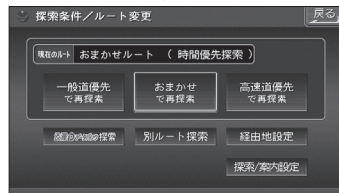
- 探索結果メニュー(※9ページ)から**ルート確認**を選んで、ルート確認画面が表示されます。
 - 目的地までの所要時間と距離が表示されます。
 - 高速道路(および一部の有料道路)を通る場合、料金が表示されます。^{*}
- ^{*}料金表示は、普通車が対象です。料金は目安なので実際と異なる場合があります。(料金は2014年4月現在)

探索条件 / ルート変更画面を表示する

ルート確認画面(※左記)から探索条件変更を選ぶ



- 探索条件/ルート変更画面が表示されます。



- **一般道優先で再探索**：一般道路を優先して通るルートを再探索します。(※13ページ)
- **おまかせで再探索**：優先する道路を自動的に切り換えて再探索します。(※13ページ)
- **高速道優先で再探索**：高速道路を優先して通るルートを再探索します。(※13ページ)
- **渋滞データバンク探索**：渋滞を考慮したルートを探索します。(※19ページ)
- **別ルート探索**：別のルートを探索します。(※19ページ)
- **経由地設定**：ルート詳細設定画面が表示されます。
- **探索/案内設定**：探索案内設定画面が表示されます。

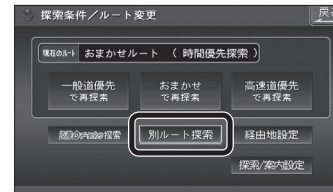
お知らせ

- 探索結果メニュー(※9ページ)から**探索条件/ルート変更**を選んで、探索条件/ルート変更画面が表示されます。

別ルート探索する

別ルート探索の操作性を向上させ、さらに使いやすくなりました。

1 探索条件/ルート変更画面(※18ページ)から別ルート探索を選ぶ



- 5通りのルートが表示されます。

2 ルートを選び、決定を選ぶ

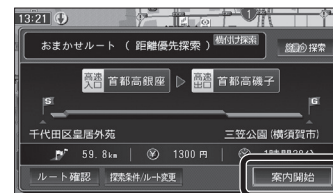


目的地までの距離
37.7km
料金表示^{*}
950円
(高速道路および一部の有料道路を通る場合)

ルート探索条件(例: おまかせ / 時間優先)

- ルート2(上から2番目)に表示されるルートを選び、オートルート・曜日時間規制探索・DRGSは行いません。(渋滞データバンク探索時を除く)
^{*}料金表示は、普通車が対象です。料金は目安なので実際と異なる場合があります。(料金は2014年4月現在)

3 案内開始を選ぶ

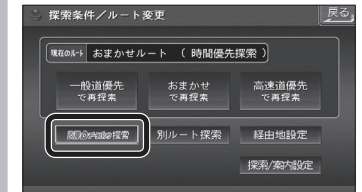


- ルート案内を開始します。

渋滞を考慮したルートを作る(渋滞データバンク探索)

渋滞データバンク探索は探索条件/ルート変更画面(※18ページ)に移動になりました。

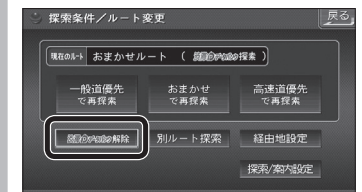
探索条件/ルート変更画面(※18ページ)から渋滞データバンク探索を選ぶ



- 探索結果メニュー(※9ページ)から**渋滞D探索**を選んで操作することもできます。
- 探索方法は、従来どおりです。

解除するには

探索条件/ルート変更画面(※18ページ)から渋滞データバンク解除を選ぶ



- 探索結果メニュー(※9ページ)から**渋滞D解除**を選んで操作することもできます。

オーディオの基本操作

時計を表示させる

オーディオ画面に現在時刻を表示させることができるようになりました。

- 時計表示設定を「地図/オーディオで表示する」に設定してください。(※42ページ)

時計の表示のされかたは、オーディオによって異なります。

DVD VCD TV デジタルTV VTR

例：DVDの場合



FM/AM CD MP3 MD※ HDD MUSIC iPod
SD-Audio BLUETOOTH Audio ハンズフリー TI

例：CDの場合

現在時刻を表示



- 時計が表示されるのは、再生情報が表示されている画面のみです。

※ MDはCN-HDS960TD、CN-HDS940TDのみ。

時計を消去する

タッチ操作のみ

DVD VCD TV デジタルTV VTR

一時的に時計を消去することができます。

時計をタッチする



- 時計が消去されます。
- リモコンの を押すと、再度時計が表示されます。
- メニュー画面、地図画面、他のオーディオ画面などに切り換えると、再度時計が表示されます。
- タッチキーが表示されているときなど、時計を一時消去できない場合があります。

お知らせ

- DVDのトップメニュー/タイトルメニュー操作時、時計付近の項目を選ぶと、時計が消去され、項目が選ばれない場合があります。そのときは、そのまま再度項目を選んでください。再度時計を表示させる場合は、項目を選んだあとに、リモコンの を押してください。
- ナビゲーションはGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、TV番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。

ディスクを再生する

DVD/ビデオCDの基本操作

画面にタッチすると、タッチキーの全ボタンが表示されるようになりました。

画面にタッチすると、タッチキーが表示されます。



サブディスプレイ表示について

CN-HDS960TD のみ

サブディスプレイ表示にBLUETOOTH Audioとハンズフリー通話と時計表示が追加されました。



サブディスプレイ

■ BLUETOOTH Audio

※ 曲情報・フォルダ情報は表示されません。

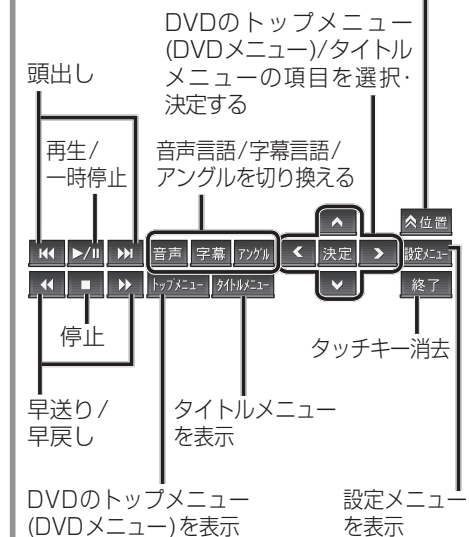
■ ハンズフリー

待ち受け中:PHONE
発信中 :DIALING(点滅)
着信中 :CALLING(点滅)
通話中 :TALKING

■ 時計表示

サブディスプレイ表示設定を「時計を表示する」に設定してください。(※43ページ)

タッチキーの表示位置を切り換える



HDD MUSIC を再生する

アルバム・曲を消去する

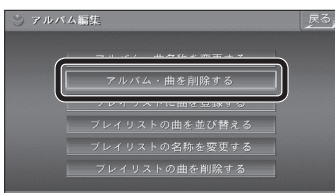
アルバム・曲を消去する際、アルバムをよみ順または録音日順に表示して検索できるようにしました。

1 編集を選ぶ



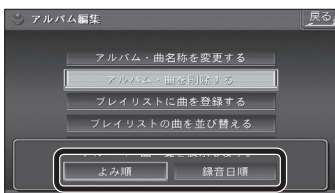
- アルバム編集画面が表示されます。

2 アルバム・曲を削除するを選ぶ



3 リストの表示順を選ぶ

- **よみ順**: アルバムのよみ順で表示します。
- **録音日順**: 録音日順で表示します。



- 再生している場合は再生を一時停止します。

4 削除したいアルバムを選ぶ



アルバムを消去する場合は

5 削除を選ぶ

- 選んだアルバムが消去されます。

曲を消去する場合は

曲表示を選ぶ 手順6へ



6 曲を選ぶ



7 確認を選ぶ



- 曲が消去されます。

お知らせ

- プレイリスト再生時は消去できません。
- 消去した曲がプレイリストにも登録されている場合は、プレイリストからも消去されます。
- 消去したデータは、もとに戻せません。消去は、十分確認したうえで行ってください。
- 消去中はエンジンを切らないでください。ナビゲーションが正しく動作しなくなる場合があります。

音楽データの情報を編集する

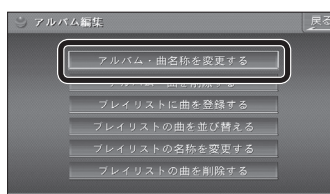
アルバム・曲の情報を見る

よみが未入力のアルバム* のみを表示させることができるようになりました。

*アルバム名、アーティスト名、曲名のいずれかのよみの情報がない場合

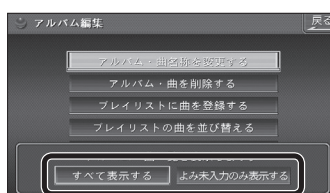
1 アルバム編集画面から

アルバム・曲名称を変更するを選ぶ



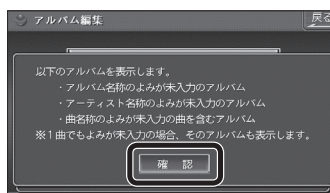
2 表示するアルバムを選ぶ

- **すべて表示する**: すべてのアルバムが表示されます。・再生している場合は再生を一時停止します。
- **よみ未入力のみ表示する**: アルバム名、アーティスト名、曲名のいずれかのよみが未入力のアルバムのみ表示されます。



3 よみ未入力のみ表示するを

選んだ場合のみ 確認を選ぶ



- 再生している場合は再生を一時停止します。

4 アルバムを選ぶ

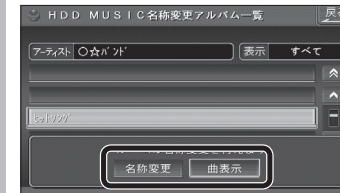


5 アルバムの情報を編集する場合は名称変更を選ぶ

- アルバム情報編集画面が表示されます。

曲の情報を編集する場合は

曲表示を選ぶ 手順6へ



6 曲を選ぶ



7 確認を選ぶ



- 曲情報編集画面が表示されます。

お知らせ

- プレイリスト再生時はアルバム・曲名称を変更できません。

BLUETOOTH 対応機器と組み合わせる

- 配線・取り付けには専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- Bluetooth ユニット(CY-BT200D:生産完了)の説明書も、併せてご覧ください。

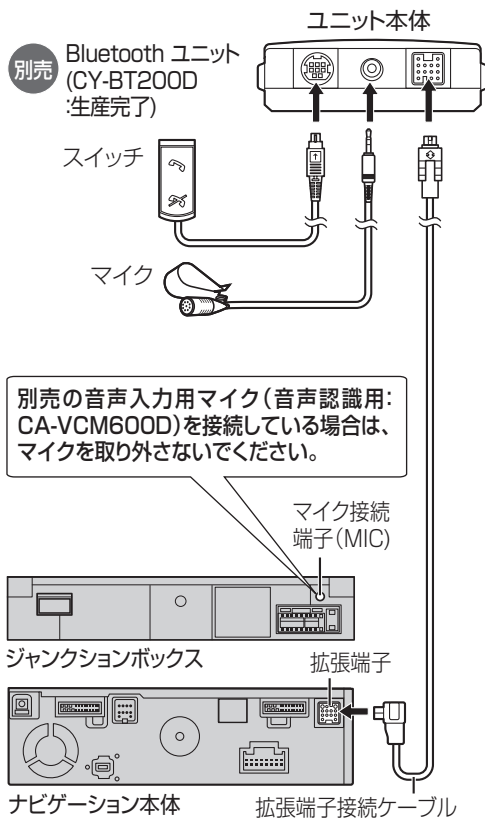
別売のBluetooth ユニット(CY-BT200D:生産完了)と接続して、ハンズフリー通話をしたり、BLUETOOTH Audioを聞けるようになります。

- iPod をナビゲーションに接続している場合、Bluetooth ユニット(CY-BT200D:生産完了)は接続できません。

Bluetooth ユニットと接続する

ハンズフリー通話するには、別売のBluetooth ユニット(CY-BT200D:生産完了)に付属のマイクを必ず接続してください。(Bluetooth ユニットに付属の音声入力コードは使用しません。)

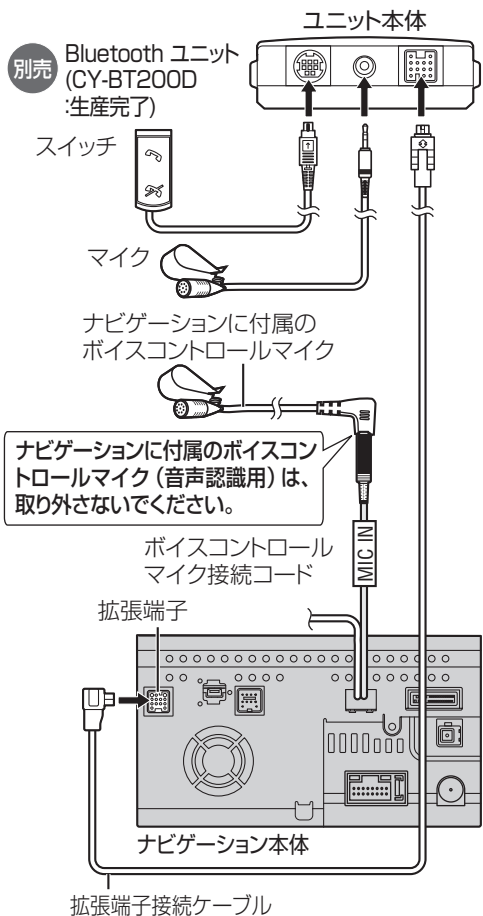
CN-HDS910TD



お願い

- 各接続端子は、カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- Bluetoothユニットに付属のマイクはハンズフリー通話用です。音声認識を使用する場合は、オンタッチモニターに内蔵のマイクに向かってお話しください。*
- ※すでに別売の音声入力用マイク(CA-VCM600D)をご使用の場合は、そちらに向かってお話しください。

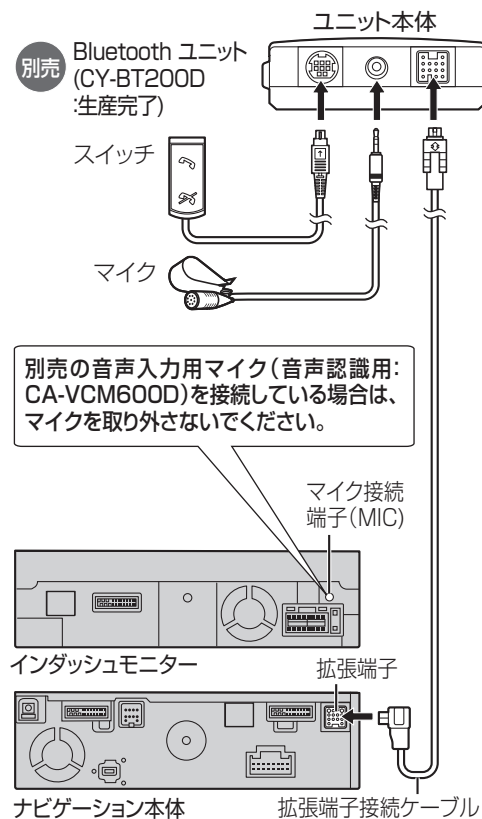
CN-HDS940TD



お願い

- 各接続端子は、カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- Bluetoothユニットに付属のマイクはハンズフリー通話用です。音声認識を使用する場合は、ナビゲーションに付属のボイスコントロールマイクに向かってお話しください。

CN-HDS960TD



お願い

- 各接続端子は、カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- Bluetoothユニットに付属のマイクはハンズフリー通話用です。音声認識を使用する場合は、オンタッチモニターに内蔵のマイクに向かってお話しください。*
- ※すでに別売の音声入力用マイク(CA-VCM600D)をご使用の場合は、そちらに向かってお話しください。

Bluetooth ユニットの接続を確認する

1 メニュー画面「情報」からシステム情報を選ぶ



2 拡張ユニット情報を選ぶ



3 ON表示になっていることを確認する



- ON表示にならないときは、Bluetooth ユニットの接続を確認してください。

BLUETOOTH 対応機器と組み合わせる

- 「BLUETOOTHについて」を、よくお読みください。(※ 48ページ)
- BLUETOOTH対応機器は、BLUETOOTH Audio用・ハンズフリー用それぞれ1台まで接続できます。

BLUETOOTH 対応機器と 組み合わせてできること

■ オーディオを聞く(BLUETOOTH Audio)

BLUETOOTH対応の携帯電話やオーディオ機器と組み合わせると、ナビゲーションからそれらの機器を操作して再生できます。

■ ハンズフリーで通話する

BLUETOOTH対応の携帯電話と組み合わせると、ハンズフリー通話ができます。

- **かかってきた電話に出る**
ナビゲーションを使って、携帯電話にかかってきた電話に出ることができます。

● 電話をかける

電話番号や発着信履歴から電話をかけられます。また、携帯電話の電話帳をナビゲーションに転送して、ナビゲーションを使って電話帳から電話をかけることもできます。

● 施設を検索して電話をかける

検索した施設に電話番号の情報があつた場合は、その施設に電話をかけられます。登録ポイントに電話番号を登録しておくこと、検索した登録ポイントの番号に電話をかけられます。

必要な機器

■ Bluetooth ユニット (CY-BT200D:生産完了)

ナビゲーションに接続して、BLUETOOTH対応機器と通信するのに使います。

■ BLUETOOTH 対応機器

BLUETOOTH対応の携帯電話やオーディオ機器などが別途必要です。

- BLUETOOTH対応携帯電話の適合機種については下記サイトにてご確認ください。
URL : <http://panasonic.jp/navi/>

- 本書では、BLUETOOTH対応機器の操作を、docomo P-05Cを例に説明しています。
- 操作方法は機器によって異なります。詳しくは、BLUETOOTH対応機器の取扱説明書をお読みください。

お知らせ

- 機器によっては、BLUETOOTH対応機器であってもナビゲーションと組み合わせられない場合があります。
- BLUETOOTH対応機器をナビゲーションと接続すると、BLUETOOTH対応機器の電池の消耗が早くなりますので、ご注意ください。
- Bluetooth ユニット (CY-BT200D : 生産完了) をナビゲーションに接続すると、iPod は接続できません。

BLUETOOTH 対応機器を

BLUETOOTH 対応機器をナビゲーション に登録する (BLUETOOTH Audio)

1 オーディオメニュー(※ 8ページ)から Bluetooth® Audio を選ぶ



- Bluetooth® Audio画面が表示されます。

2 設定 を選ぶ



- BLUETOOTH Audio設定画面が表示されます。

3 BLUETOOTH 対応機器登録 を選ぶ



- すでに機器が登録されている場合は「はい」を選ぶ



- 機器の登録が解除されます。

BLUETOOTH対応機器を操作して、 ナビゲーションの機器登録をする

(※ 27ページ 手順 4 ~ 6)

ナビゲーションに登録する

携帯電話をナビゲーションに登録する (ハンズフリー)

1 オーディオメニュー(※ 8ページ)から ハンズフリー を選ぶ



- ハンズフリー画面が表示されます。

2 設定 を選ぶ

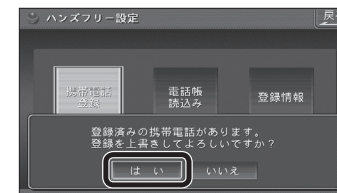


- ハンズフリー設定画面が表示されます。

3 携帯電話登録 を選ぶ



- すでに携帯電話が登録されている場合は「はい」を選ぶ



- 携帯電話の登録が解除されます。

携帯電話を操作して、ナビゲーション の機器登録をする

(※ 右記 手順 4 ~ 6)

BLUETOOTH 対応機器 (携帯電話など) を 操作してナビゲーションの機器登録をする

4 周辺のBLUETOOTH対応機器を探す

- 1 (MENU) を押す
- 2 便利ツール を選ぶ
- 3 Bluetooth を選ぶ
- 4 ● 新規で登録する場合
新規機器登録 を選ぶ
● 「Strada」が登録済みの場合
登録機器リスト を選び、Strada を選ぶ
※ 手順 7へ

- 5 OK を選ぶ
- 周辺のBLUETOOTH対応機器が検索され、登録機器リストに表示されます。

5 BLUETOOTH対応機器に 登録する機器(ナビゲーション)を選ぶ

- 1 Strada を選ぶ
 - 2 YES を選ぶ
- (BLUETOOTHパスキー入力画面が表示された場合のみ)

ナビゲーションのBLUETOOTH 対応機器に入力する

- 1 BLUETOOTHパスキーを入力する
 - 2 確定 を選ぶ
(お買い上げ時の設定: 0000)
- BLUETOOTH対応機器によっては、この操作は必要ありません。

7 ナビゲーションとBLUETOOTH 対応機器を接続する

- Bluetooth Audio の場合 (※ 28ページ)
- ハンズフリーの場合 (※ 31ページ)

これでご利用前の準備は完了です。
BLUETOOTH Audio・ハンズフリーを利用できます。

スマートフォンの機器登録

操作方法は機器によって異なりますので、お手持ちのスマートフォンの説明書をご覧ください。

- ハンズフリーとBluetooth® Audioが同時に登録される場合があります。

BLUETOOTH Audio を再生する

BLUETOOTH Audio に切り換える

1 オーディオメニュー(※8ページ)から Bluetooth® Audio を選ぶ



- Bluetooth® Audio画面が表示されます。

ナビゲーションを登録した BLUETOOTH 対応機器と接続する

- オーディオプロファイルでナビゲーションに接続してください。
- この操作は、BLUETOOTH対応機器側で行ってください。

2 ナビゲーションと接続する

- 1 (MENU) を押す
- 2 便利ツール を選ぶ
- 3 Bluetooth を選ぶ
- 4 登録機器リスト を選ぶ
- 5 Strada を選ぶ
- 6 オーディオ を選ぶ

- ナビゲーションとBLUETOOTH対応機器が接続されます。

- 7 NO を選ぶ

3 再生する(例:ミュージックプレーヤー)

- 1 (MENU) を押す
- 2 データBOX を選ぶ
- 3 MUSIC を選ぶ
- 4 ミュージックプレーヤー を選ぶ

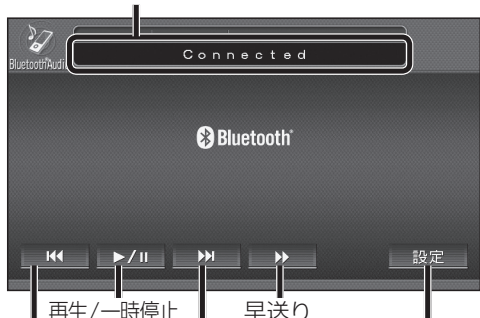
- 前回再生した曲の情報がある場合自動的に再生が開始されます。
・曲を変更したいとき※手順5へ
- 前回再生した曲の情報がない場合※手順6へ

- 5 (MENU) を押し、プレーヤーメニュー を選ぶ
- 6 再生する項目を選ぶ
- 7 再生する曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

BLUETOOTH Audio の基本操作

接続状態を表示

Connected : BLUETOOTH対応機器と接続中
Disconnected: BLUETOOTH対応機器と未接続
Unregistered : BLUETOOTH対応機器が未登録



再生/一時停止 早送り 設定
頭出し 頭出し BLUETOOTH Audio 設定画面を表示(※26ページ)

お知らせ

- 接続するBLUETOOTH対応機器によっては、ナビゲーションから再生/一時停止、早送り、頭出しができない場合があります。そのときは、BLUETOOTH対応機器側で操作してください。
- iモーションの音声も再生できます。iモーションプレーヤーから再生してください。

一時停止する

再生中に▶/|| を選ぶ



- 再生を一時停止します。
- 一時停止中に再度▶/|| を選ぶと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

◀◀ ▶▶ を選ぶ



早送りする

タッチ操作のみ

▶▶ を選ぶ



- 早戻しはできません。
- ▶/|| を選ぶと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- docomo P-05Cでは、早送りはできません。

BLUETOOTH 登録情報を確認する

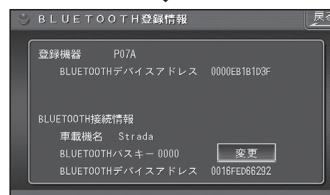
現在登録されている機器の情報を確認できます。

BLUETOOTH Audio 設定画面から

登録情報 を選ぶ



- BLUETOOTH 登録情報画面が表示されます。



BLUETOOTH パスキーを変更する

■ BLUETOOTH パスキーとは

BLUETOOTHによる接続を他人に許可なく使われないためのパスワードです。接続機器によってはあらかじめ設定され、変更できない場合があります。

1 BLUETOOTH 登録情報画面から 変更 を選ぶ



2 BLUETOOTH パスキーを入力し、完了 を選ぶ



- 4~8桁の数字を設定できます。
- 修正 を選ぶと、1文字削除されます。
※リモコンで「0」を入力するときは、10を押す。

BLUETOOTH Audio の登録情報を消去する

BLUETOOTH Audio の登録情報を消去します。BLUETOOTH Audio の登録情報を消去すると、もとに戻せません。(再度登録が必要になります。)消去は、十分確認のうえ行ってください。

1 BLUETOOTH Audio 設定画面から登録消去を選ぶ



2 はいを選ぶ



- BLUETOOTH Audio の登録情報が消去されます。
- 消去完了のメッセージが表示されるまで、ナビゲーションの電源を切らないでください。登録情報の消去が正しく行われない場合があります。

お知らせ

- ハンズフリーの登録情報は、上記の操作では消去されません。ハンズフリーの登録情報を消去する場合は38ページをご覧ください。

ハンズフリー通話するときは

- 交通事故防止のため、なるべく安全な場所に停車してください。
- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- マイクに向かって大きな声ではっきりとお話してください。

お知らせ

- ナビゲーションの音声案内時にハンズフリーの音声はナビミュートされません。

ハンズフリーに切り換える

オーディオメニュー(8ページ)からハンズフリーを選ぶ



- ハンズフリー画面が表示されます。

ナビゲーションを登録した携帯電話と接続する

ハンズフリーをお使いになる前に、ナビゲーションを登録した携帯電話を、ハンズフリープロファイルでナビゲーションに接続してください。

- ナビゲーションのオーディオがハンズフリーONの状態で行ってください。(37ページ)

この操作は、携帯電話側で行ってください。

ナビゲーションと接続する

- 1 (MENU) を押す
- 2 便利ツール を選ぶ
- 3 Bluetooth を選ぶ
- 4 登録機器リスト を選ぶ
- 5 Strada を選ぶ
- 6 ハンズフリー を選ぶ
- 7 YES を選ぶ
- 8 ダイヤルアップ を選ぶ
- 9 NO を選ぶ

- ナビゲーションと携帯電話が接続されます。
- 機種によっては、携帯電話を手動で接続待機状態にする必要があります。

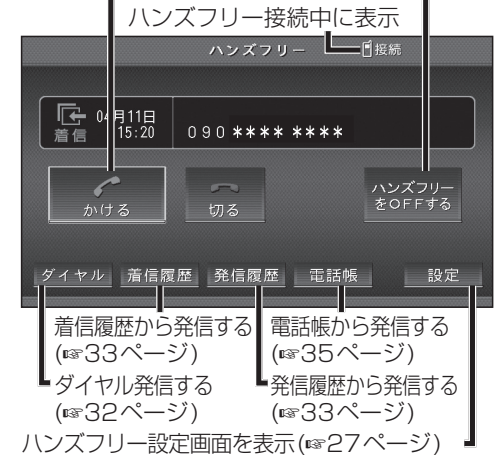
お知らせ

- ハンズフリー用の機器を接続した状態でナビゲーションの電源を切ると、次回起動時に、ナビゲーションはハンズフリー用機器との接続を自動的に開始します。
- オーディオがBLUETOOTH Audio の状態でナビゲーションの電源を切った場合は、次回起動時にナビゲーションとハンズフリー用機器は自動的に接続されません。ハンズフリーを利用するには、いったんオーディオをハンズフリーに切り換えてください。しばらくすると、自動的に接続されます。
- 携帯電話を待受画面にしないと、ハンズフリー通話ができない場合があります。
- 携帯電話によっては、ナビゲーションとハンズフリー接続中は携帯電話を操作して電話をかけても(出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。

ハンズフリーの基本操作

■ 待受中

ハンズフリーをOFFにする(37ページ)
電話をかける(32ページ)



■ 発信中 / 着信中 / 通話中

通話を携帯電話に切り換える/ハンズフリーに戻す(36ページ)



- 【着信中】電話に出ずに切る(32ページ)
- 【発信中】発信を中止する(36ページ)
- 【通話中】電話を切る(36ページ)
- 【着信中】電話に出る(32ページ)

■ 地図画面表示中は



ハンズフリー接続中は「ハンズフリー」が表示されます。

Bluetooth ユニットでの操作

別売のBluetoothユニット(CY-BT200D:生産完了)付属のスイッチを使って電話に出たり、ハンズフリーの状態を確認することができます。

状態ランプ (青 LED)

- 点灯: 待受中/通話中
- 点滅: 着信中
- 消灯: BLUETOOTH対応機器と未接続

ボタン (青 LED)

- 電話を受ける
- ※ 発信はできません。

ボタン (赤 LED)

- 通話を終了する
- 着信を拒否する
- 発信を中断する



かかってきた電話に出る

電話がかかってくると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。

電話に出る

着信中に「受ける」を選ぶ



- 通話を開始します。

電話に出ない場合は

着信中に「切る」を選ぶ



- 着信に出ることなく、電話が切れます。

お知らせ

- 着信音は携帯電話側で設定されているものとは異なる場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、着信中に「切る」を選んでも電話に出る場合があります。
- ハンズフリー用の機器とは別の機器をBLUETOOTH Audio用に接続している場合は、ナビゲーションのオーディオがBLUETOOTH Audioのときに電話がかかってきてもハンズフリー通話できません。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 ハンズフリー画面から「ダイヤル」を選ぶ



- ダイヤル画面が表示されます。

2 電話番号を入力して、「かける」を選ぶ

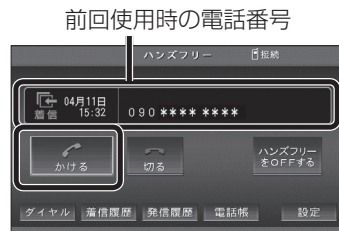


- 発信を開始します。
- 「修正」を選ぶと、1文字削除されます。
- ※ リモコンで「0」を入力するときは、「0」を押す。

前回使用時の相手に電話をかける

前回使用時が発信の場合はリダイヤルで、着信の場合はコールバックで電話をかけます。

待受中に「かける」を選ぶ



- 発信を開始します。

お知らせ

- リダイヤル/コールバックは、走行中も可能です。

履歴から電話をかける

過去にナビゲーションで着信/発信した履歴から電話をかけることができます。それぞれ電話番号は最大5件まで自動的に保存され、5件を超えると古いものから自動的に消去されます。(発信履歴では、同じ電話番号の履歴に対して最新の履歴のみ保存されます。)

1 ハンズフリー画面から「着信履歴」/「発信履歴」を選ぶ



- 着信履歴画面/発信履歴画面が表示されます。

2 リストから連絡先を選ぶ



- 「すべて消去」を選ぶと、着信履歴/発信履歴をすべて消去します。

3 「かける」を選ぶ



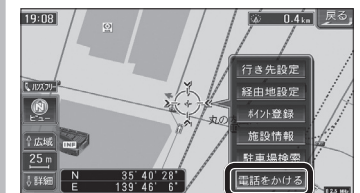
- 発信を開始します。

検索した施設に電話をかける

行き先メニューから検索した施設に電話番号の情報があがる場合は、電話をかけることができます。

1 行き先メニューから施設を検索する

2 「電話をかける」を選ぶ



- 発信を開始し、ハンズフリー画面に切り替わります。

お知らせ

- 施設情報(ガイド情報)の電話番号からは、電話をかけられません。

登録ポイントから電話をかける

登録ポイントに登録された電話番号に電話をかけることができます。

- 登録ポイントに電話番号を登録してください。

1 登録ポイントを検索し、地点メニューを表示させる

2 「電話をかける」を選ぶ



- 発信を開始し、ハンズフリー画面に切り替わります。

電話をかける (続き)

電話帳から電話をかける

携帯電話の電話帳をナビゲーションに登録する

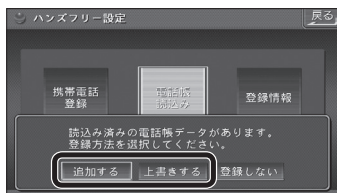
携帯電話に登録された電話帳をナビゲーションに送信し、登録できます。

1 ハンズフリー設定画面から電話帳読み込みを選ぶ



- 電話帳が登録されていない場合
電話帳読み込み画面を表示 ☞ 手順 3 へ
- すでに電話帳が登録されている場合
☞ 手順 2 へ

2 追加する / 上書きするを選ぶ



- **追加する**: 読み込み済みの電話帳データを残して、追加登録します。
- **上書きする**: 読み込み済みの電話帳データを削除して、新たに登録します。

以下の操作は携帯電話側で行ってください。

3 携帯電話からナビゲーションに電話帳を送信する

- 1 **MENU** を押す
 - 2 **電話機能** を選ぶ
 - 3 **電話帳** を選ぶ
 - 4 **電話帳検索** を選ぶ
 - 5 電話帳を表示させる
 - 6 (一件選んで送信する場合のみ)
送信したい電話帳を選ぶ
 - 7 **MENU** を押す
 - 8 ● 一件選んで送信する場合
Bluetooth送信 を選ぶ
 - 全件送信する場合
Bluetooth全送信 を選ぶ
 - 9 **Strada** を選ぶ
 - 10 (全件送信する場合のみ)
端末暗証番号を入力し、**確定** を選ぶ
 - 11 **YES** を選ぶ
- 携帯電話の電話帳がナビゲーションに登録されます。
 - ナビゲーションに登録完了のメッセージが表示されるまで、ナビゲーションを操作したり、電源を切ったりしないでください。
 - 機種によっては、電話帳送信先を設定する必要があります。

ナビゲーションに登録できる電話帳

氏名	全角20文字(半角40文字)まで	
よみがな	半角40文字まで	
電話番号	桁数	20桁まで
	件数	1人につき4件/ 最大1000件
対応文字	氏名・よみがな	シフトJIS形式 ● 絵文字非対応(「=」と表示されます。)
	電話番号	数字、「#」、「*」 ● 数字、「#」、「*」、「-」以外の文字の入った電話番号は登録されません。 ● 「-」の入った電話番号は登録されますが、「-」は表示されません。

お知らせ

- 手順 3 は docomo P-05C を例に説明しています。操作方法は機器によって異なりますので、お手持ちの携帯電話の説明書をご覧ください。
- ナビゲーションに登録した電話帳の内容を編集したり、部分的に消去することはできません。電話帳の内容を変更するときは、ナビゲーションに登録された電話帳をすべて消去 (☞ 38 ページ) し、再度登録しなおしてください。
- オブジェクトプッシュサービスを利用します。
- 携帯電話を操作中に一定時間が経つと、電話帳読み込み画面はハンズフリー設定画面に戻ります。その場合は再度、電話帳読み込み画面を表示させてから携帯電話の操作を続けてください。

登録した電話帳から電話をかける

1 ハンズフリー画面から電話帳を選ぶ



- 電話帳画面が表示されます。

2 リストから通話先を選ぶ



3 リストから通話先の電話番号を選び、かけるを選ぶ



- 発信を開始します。

通話を携帯電話に切り換える

通話中/発信中/着信中に、**携帯に切換**を選ぶ



- 通話を携帯電話に切り換えます。

■ 通話をハンズフリーに戻すには
通話中/発信中/着信中に、**ハンズフリーに切換**を選ぶ



- 通話をハンズフリーに切り換えます。

受話音量を調整する

通話中に、**− VOL + (小 大)** で調整する

CN-HDS940TD・CN-HDS910TD

- 押すごとに、音量が1ステップ大きく(小さく)なります。
- **+** を押し続けると、1ステップ単位で連続して大きくなります。
- **−** を押し続けると、2ステップ単位で連続して小さくなります。

電話を切る

通話中に、**切る**を選ぶ



- 電話が切れます。
- 発信中に **切る** を選ぶと、発信を中止します。

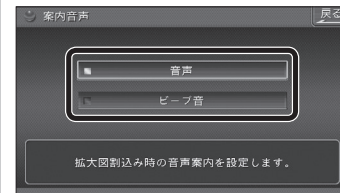
ハンズフリー通話時のルート案内音声を設定する

1 **ハンズフリー設定画面から案内音声** を選ぶ



- 案内音声画面に切り換わります。

2 **案内音声を設定する**



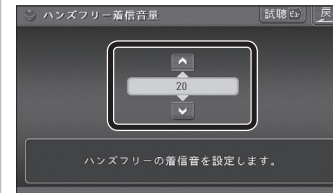
- **音声** : 拡大図割込時、音声で案内されます。
- **ビーブ音** : 拡大図割込時、ビーブ音がなります。

着信音量を設定する

1 **ハンズフリー設定画面から着信音量** を選ぶ



2 **音量を調整する**



- 調整範囲:0~20~40 (太字はお買い上げ時の設定です。)
- 着信中は、**− VOL + (小 大)** でも着信音量を調整できます。
- **試聴** を選ぶと、音量を確認できます。

ハンズフリーを OFF にする

待受中に、**ハンズフリーを OFF する** を選ぶ



- ナビゲーションでハンズフリー通話できなくなります。(ハンズフリー-OFF) 通話は携帯電話で行ってください。

■ **ハンズフリーを ON するにはハンズフリーを ON する** を選ぶ



- ナビゲーションでハンズフリー通話できるようになります。(ハンズフリー-ON)

ハンズフリーで通話する

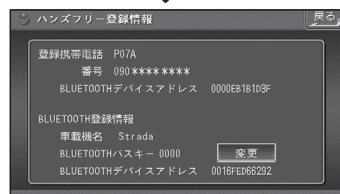
ハンズフリー登録情報を確認する

現在登録されている機器の情報を確認できます。

ハンズフリー設定画面から登録情報を選ぶ

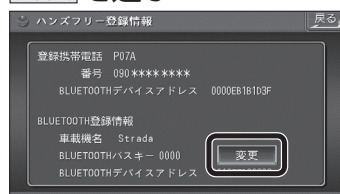


- ハンズフリー登録情報画面が表示されます。



BLUETOOTH パスキーを変更する

1 ハンズフリー登録情報画面から変更を選ぶ



2 BLUETOOTH パスキーを入力し、完了を選ぶ

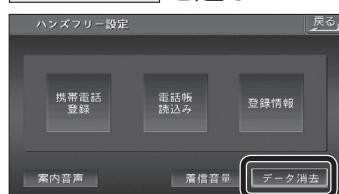


- 4～8桁の数字を設定できます。
- 修正**を選ぶと、1文字削除されます。
※リモコンで「0」を入力するときは、**10**を押す。

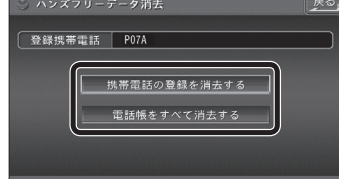
ハンズフリーデータを消去する

携帯電話の登録情報や電話帳のデータを消去します。ハンズフリーの登録データを消去すると、もとの戻せません。(再度登録が必要になります。)消去は、十分確認のうえ行ってください。

1 ハンズフリー設定画面からデータ消去を選ぶ

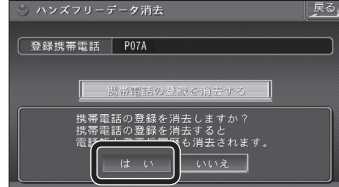


2 消去する内容を選ぶ



- 携帯電話の登録を消去する**：携帯電話の登録情報(発信履歴・着信履歴・電話帳)を消去します。
- 電話帳をすべて消去する**：電話帳のみ消去します。

3 はいを選ぶ



- 選んだ情報が消去されます。
- 消去完了のメッセージが表示されるまで、ナビゲーションの電源を切らないでください。データの消去が正しく行われない場合があります。

お知らせ

- BLUETOOTH Audioの登録情報は、上記の操作では消去されません。BLUETOOTH Audioの登録情報を消去する場合は30ページをご覧ください。

BLUETOOTH Audio 操作に関するボイスワード

BLUETOOTH Audio に切り換える

■ ナビ画面から BLUETOOTH Audio に切り換える

1 ナビゲーション画面で

発話 を押す

- 音声認識が起動します。

2 BLUETOOTH Audio に切り換える

ご用は何ですか? ピッ!

オーディオ切り換え

オーディオ切り換え ピッ!

BLUETOOTH 切り換え

BLUETOOTH 切り換え

■ 他のオーディオから BLUETOOTH Audio に切り換える

1 オーディオ画面で

発話 を押す

- 音声認識が起動します。

2 BLUETOOTH Audio に切り換える

ご用は何ですか? ピッ!

ソース切り換え

ソース切り換え ピッ!

BLUETOOTH 切り換え

BLUETOOTH 切り換え

曲を頭出しする

1 BLUETOOTH Audio 再生中に

発話 を押す

- 音声認識が起動します。

2 曲を頭出しする

ご用は何ですか? ピッ!

トラックアップ*

トラックアップ

※下記のボイスワードを発声してください。

- ・トラックアップ
- ・トラックダウン

ETC車載器と接続して使う 利用に応じた設定に変える

料金履歴のリストを表示する

ETC 料金表示は、メニュー画面「情報」に移動しました。

お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。

料金履歴画面表示中は、ETC 車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

メニュー画面「情報」から ETC 料金表示 を選ぶ



日付	料金	入口	出口
20XX/04/19	950円	須磨 P.A	～ 太宰府本線
20XX/04/19	300円	福岡	～ 須磨 P.A
20XX/04/19	540円	---	---
20XX/04/18	950円	筑紫野	～ 太宰府本線
20XX/04/18	1150円	太宰府	～ 八女
20XX/04/17	540円	---	---

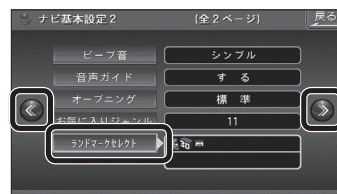
ランドマークセレクト

- 企業ランドマークを選ぶ際、全項目をワンタッチで選べるようになりました。
- ランドマークに「カーディーラー」の項目が追加されました。

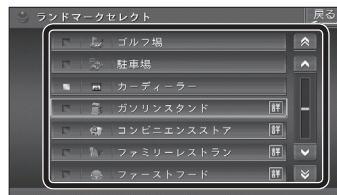
1 ナビ設定画面から ナビ基本設定 を選ぶ



2 <<>> で 2 ページ目を表示させ、ランドマークセレクト を選ぶ



3 表示したいランドマークを選ぶ



- 「カーディーラー」の項目が追加されました。
- 詳マークの付いた項目を選ぶと、企業ランドマークを選べます。



- 全選択 を選ぶと、全項目選べます。

おまかせ探索レベル

「おまかせ」で探索するときの、探索レベルを設定できるようになりました。

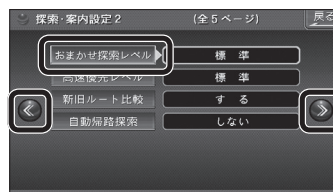
1 ナビ設定画面から ナビ詳細設定 を選ぶ



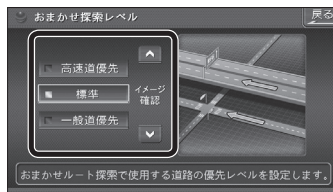
2 探索案内設定 を選ぶ



3 <<>> で 2 ページ目を表示させ、おまかせ探索レベル を選ぶ



4 高速道優先 / 標準 / 一般道優先のいずれかを選ぶ



- **高速道優先**：より高速道を通るルートを探します。
 - **標準**：「高速道優先」と「一般道優先」の中間の割合で高速道を通るルートを探します。
 - **一般道優先**：より一般道を通るルートを探します。
- (太字はお買い上げ時の設定です)
※ルート案内中に設定を変更すると、自動的に再探索を行います。

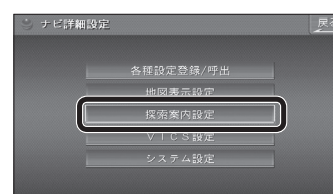
合流案内

合流案内する / しないを設定できるようになりました。

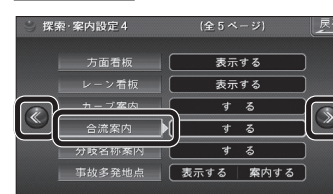
1 ナビ設定画面から ナビ詳細設定 を選ぶ



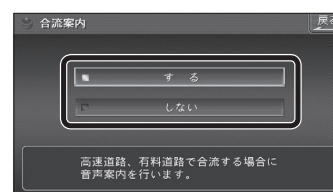
2 探索案内設定 を選ぶ



3 <<>> で 4 ページ目を表示させ、合流案内 を選ぶ



4 する / しない を選ぶ



- **する**：高速道路、有料道路で合流する場合に音声案内されます。
 - **しない**：合流案内されません。
- (太字はお買い上げ時の設定です)

別売品

必要なときに

音声 / 映像の設定を変える

スピーカー選択

スピーカー選択がスピーカー設定からも設定できるようになりました。

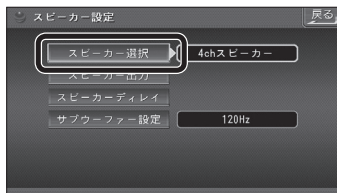
1 AUDIO 設定画面から AUDIO 詳細設定 を選ぶ



2 スピーカー設定 を選ぶ



3 スピーカー選択 を選ぶ



● 設定方法は従来どおりです。

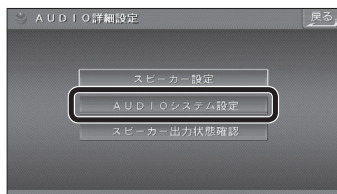
時計表示

オーディオ画面で現在時刻を表示する / しないを設定できるようになりました。

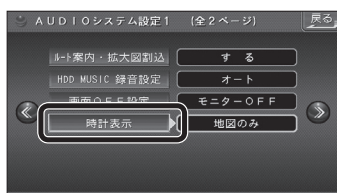
1 AUDIO 設定画面から AUDIO 詳細設定 を選ぶ



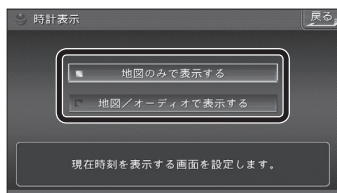
2 AUDIO システム設定 を選ぶ



3 時計表示 を選ぶ



4 地図のみで表示する / 地図 / オーディオで表示する を選ぶ



- **地図のみで表示する** : 地図画面でのみ現在時刻を表示します。
- **地図 / オーディオで表示する** : 地図画面とオーディオ画面で現在時刻を表示します。

(太字はお買い上げ時の設定です)

サブディスプレイ表示

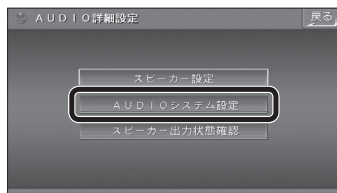
CN-HDS960TD のみ

サブディスプレイで表示する内容を設定できるようになりました。

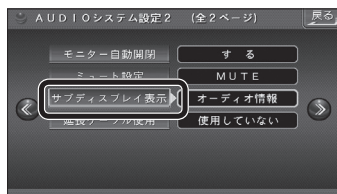
1 AUDIO 設定画面から AUDIO 詳細設定 を選ぶ



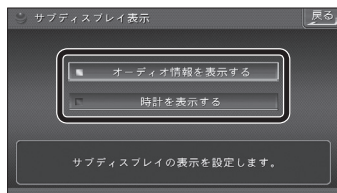
2 AUDIO システム設定 を選ぶ



3 <<>> で 2 ページ目を表示させ、 サブディスプレイ表示 を選ぶ



4 オーディオ情報を表示する / 時計を表示する を選ぶ



- **オーディオ情報を表示する** : 現在のオーディオ情報を表示します。
- **時計を表示する** : 現在時刻を表示します。

(太字はお買い上げ時の設定です)

故障かな!?

BLUETOOTH Audio /ハンズフリー

症状	原因と処置	ページ
BLUETOOTH対応機器をナビゲーションに機器登録できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話が HFP(Hands-Free Profile) に対応していない。 → ハンズフリー用の携帯電話は、HFP に対応したものを登録してください。 ● BLUETOOTH 対応機器が A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) に対応していない。 → BLUETOOTH Audio 用の BLUETOOTH 対応機器は、A2DP に対応したものを登録してください。 ● BLUETOOTH 対応機器のファームウェア (ソフトウェア) が古い。 → ファームウェアを最新にしてください。 	—
BLUETOOTH 対応機器の登録機器リストで「Strada」を選択しても、ナビゲーションに登録できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● BLUETOOTH デバイスアドレスがナビゲーションのものと異なる。 → 以前、他のナビゲーション (Strada) に機器登録していた場合は、登録機器リストに使用しているナビゲーションとは異なる BLUETOOTH デバイスアドレスの「Strada」が表示される場合があります。BLUETOOTH 対応機器の登録機器リストから「Strada」を解除し、再度機器登録してください。 	26
ナビゲーションに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● BLUETOOTH 対応機器がナビゲーションに機器登録されていない。 → 機器登録してください。 ● 携帯電話が HFP(Hands-Free Profile) に対応していない。 → 機種によっては、HFP に対応していなくてもナビゲーションに登録される場合がありますが、HFP に対応していないとハンズフリー接続されません。 ● BLUETOOTH 対応機器が A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) に対応していない。 → 機種によっては、A2DP に対応していなくてもナビゲーションに登録される場合がありますが、A2DP に対応していないと BLUETOOTH Audio 接続されません。 	26
BLUETOOTH 対応機器が自動的に再接続されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンズフリーが OFF になっている。 → ハンズフリーを ON にしてください。 ● BLUETOOTH Audio は、接続が解除されると自動的に再接続されません。 → オーディオを BLUETOOTH Audio に切り換え、BLUETOOTH 対応機器を操作してナビゲーションと接続してください。 ● BLUETOOTH 対応機器の BLUETOOTH 機能が無効になっている。 → BLUETOOTH 機能を有効にしてください。BLUETOOTH 対応機器が省電力モードに設定されていると、一定時間経過後に自動的に接続が解除される場合があります。BLUETOOTH 対応機器の設定を変更してください。 ● 携帯電話がハンズフリー接続待機状態になっていない。 → 携帯電話のハンズフリーが接続待機状態でない、ナビゲーションとハンズフリー接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。 	37
		28
		—
		—

BLUETOOTH Audio /ハンズフリー

症状	原因と処置	ページ
BLUETOOTH 対応機器が自動的に再接続されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● BLUETOOTH 対応機器を操作して、BLUETOOTH によるナビゲーションとの接続を解除した。 → ハンズフリーを ON にしてください。 → BLUETOOTH 対応機器を操作して、再度ナビゲーションと接続してください。 → どうしても接続できない場合は、BLUETOOTH 対応機器の登録機器リストから「Strada」を消去し、再度機器登録からやり直してください。 ● BLUETOOTH 対応機器が操作待ちになっている。(機種によっては、ナビゲーションからの接続に対し、確認操作が必要な場合があります。) → BLUETOOTH 対応機器を操作して接続を許可する。 ● Bluetooth ユニットの近くに、他の BLUETOOTH 対応機器や 2.4 GHz 帯を使用する機器がある。(混信している) → 他の BLUETOOTH 対応機器・2.4 GHz 帯を使用する機器を Bluetooth ユニットから離してください。 それでも混信する場合は、他の BLUETOOTH 対応機器・2.4 GHz 帯を使用する機器の電源を切ってください。 ● BLUETOOTH 対応機器が金属物に触れている。 → 金属物から離してください。 ● BLUETOOTH 対応機器と Bluetooth ユニットの間に障害物がある。 → BLUETOOTH 対応機器と Bluetooth ユニットの間の障害物を取り除いてください。 ● BLUETOOTH 対応機器から Bluetooth ユニットまでの距離が離れている。 → BLUETOOTH 対応機器を Bluetooth ユニットに近づけてください。 ● オーディオが BLUETOOTH Audio の状態でナビゲーションの電源を入れた。 → ナビゲーションの電源を入れたときオーディオが BLUETOOTH Audio になっている場合は、自動的にハンズフリー接続されません。オーディオをハンズフリーに切り換えてください。 ● ハンズフリーと BLUETOOTH Audio に、それぞれ異なる BLUETOOTH 対応機器を登録している。 → オーディオが BLUETOOTH Audio になっている間、ハンズフリーは接続されません。他のオーディオに切り換えてください。 ● BLUETOOTH による自動接続に失敗した。 → いったん BLUETOOTH 対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 → どうしても接続できない場合は、携帯電話の登録機器リストから「Strada」を消去し、再度機器登録からやり直してください。 	37
		31
		27
		—
		48
		—
		—
		—
		30
		—
		—
		27

BLUETOOTH Audio / ハンズフリー

症状	原因と処置	ページ
ナビゲーションに機器登録された携帯電話でハンズフリー通話できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンズフリーが OFF になっている。 →ハンズフリーを ON にしてください。 ● 通話が携帯電話に切り換わっている。 →「ハンズフリーに切り換」を選択し、通話音声を手動でハンズフリーに切り換えてください。 ● 携帯電話のサービス圏外で使用している。 →サービス圏内で使用してください。 ● BLUETOOTH による接続がされていない。 →再度接続してください。 ● 携帯電話がマナーモードになっている。 →機種によっては、マナーモードに設定しているとナビゲーションから着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。 	37 36 — 31 —
ハンズフリー通話中、エコー・ハウリングが起こる。	<ul style="list-style-type: none"> ● マイクとスピーカーの距離が近い。 →マイクとスピーカーを離してください。 ● 通話音量が大きい。 →音量を下げてください。 	— —
通話が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話の受信状態が悪い。 →携帯電話の受信状態を確認してください。 	—
通話中、相手の音声聞き取りにくい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分と相手が同時に発声した。 →交互に話してください。(故障ではありません。) ● 通話音量が小さい。 →音量を上げてください。 	— —
音質が悪い。(音がゆがむ・ノイズが発生する)	<ul style="list-style-type: none"> ● Bluetooth ユニットの近くに、他の BLUETOOTH 対応機器や 2.4 GHz 帯を使用する機器がある。(混信している) →他の BLUETOOTH 対応機器・2.4 GHz 帯を使用する機器を Bluetooth ユニットから離してください。 それでも混信する場合は、他の BLUETOOTH 対応機器・2.4 GHz 帯を使用する機器の電源を切ってください。 ● BLUETOOTH 対応機器から Bluetooth ユニットまでの距離が離れている。 →BLUETOOTH 対応機器を Bluetooth ユニットに近づけてください。 また、BLUETOOTH 対応機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTH アンテナが Bluetooth ユニットに向くように) ● 携帯電話の受信状態が悪い。 →携帯電話の受信状態を確認してください。 ● BLUETOOTH 対応機器の電池残量が少ない。 →充電してください。 ● Bluetooth ユニットが正しく配線されていない。 →配線を確認してください。 	48 — — — 24, 25

BLUETOOTH Audio / ハンズフリー

症状	原因と処置	ページ
通話音量が大きすぎる/小さすぎる。通話しづらい。	<ul style="list-style-type: none"> ● マイクと話者の距離が離れている。 →適切な距離でお話してください。 ● マイクが正しく接続されていない。 →マイクの接続を確認してください。 ● 車の窓が開いている。 →車の窓を閉めてください。 ● エアコンの送風音をマイクが拾っている。 →エアコンの送風を弱くするか、止めてください。 <p>CN-HDS960TD</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インダッシュモニターを収納した状態で通話している。 →インダッシュモニターを立ち上げて使用してください。 →Bluetooth ユニット付属のマイクをご利用ください。 	— 24, 25 — — 25
着信履歴から発信できない。コールバックできない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 番号非通知の相手にかけようとした。 →番号非通知の相手には発信できません。 ● 国際電話を受けた。 →携帯電話の契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。 ● 携帯電話の機種によっては、相手先の電話番号をナビゲーションに通知しないものがあります。 →携帯電話の着信履歴から直接発信してください。 	— — —
発着信時に相手の名前が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話の電話帳がナビゲーションに読み込まれていない。 →電話帳をナビゲーションに登録してください。 	34
携帯電話の通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる。ナビゲーションと接続中、携帯電話で通話できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 機種によっては、BLUETOOTH により接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 →携帯電話で通話するときは、ハンズフリーを OFF にしてナビゲーションとの接続を解除してください。 	37
Bluetooth ユニットが正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 配線を確認してください。 	24, 25
Bluetooth® Audio 画面から操作できない。(再生はできる)	<ul style="list-style-type: none"> ● BLUETOOTH 対応機器が AVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile) に対応していない。 →BLUETOOTH 対応機器が AVRCP に対応していない場合はナビゲーションから BLUETOOTH Audio の操作ができません。BLUETOOTH 対応機器で操作してください。 ● 機種によっては、AVRCP に対応していても一部の操作ができない場合があります。 →BLUETOOTH 対応機器で操作してください。 	— —
その他の問題がある。「故障かな!？」に記載の処置をしても問題が解決しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● いったん車のエンジンを切って、再度かけてください。 ● いったん BLUETOOTH 対応機器の電源を切って、再度入れてください。 ● 携帯電話の適合機種を確認してください。 ● それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 	— — 26 —

BLUETOOTHについて

■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH 接続中は、2.4 GHz 帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。

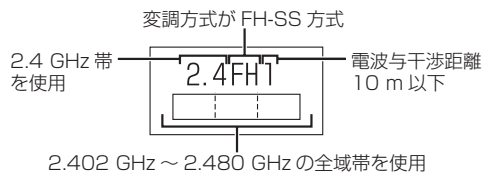
- 1 BLUETOOTH を使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービスご相談窓口」へご相談ください。

■ 機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 周波数表示の見方（製品銘板に記載）



■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■ 他機器からの影響

- 本機と他の BLUETOOTH 対応機器や 2.4 GHz 帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■ 使用制限

- 全ての BLUETOOTH 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する BLUETOOTH 対応機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機の BLUETOOTH 機能を使用するには、BLUETOOTH 対応機器が BLUETOOTH 標準規格 Ver.1.2 以降に対応している必要があります。
- 本機の BLUETOOTH の各機能を使用するには、BLUETOOTH 対応機器が下記のプロフィールに対応している必要があります。
 - ・ BLUETOOTH Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ・ ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - ・ 電話帳転送
 - Object Push Profile (OPP) または Phone Book Access Profile (PBAP)
- BLUETOOTH 対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

お知らせ

- マルチナンバーのサービスをお使いの場合は、基本契約番号または付加番号からいずれか一つを選んで登録することができます。BLUETOOTH 対応機器（ハンズフリー）の登録を行うごとに、電話番号が切り換わります。（☎27 ページ）

ナビゲーションで再生できるデータ

MP3 (HDD MUSIC)

ナビゲーションで再生できる MP3 の表示形式の一部が、変更になりました。

■ MP3 対応表 (HDD MUSIC)

サンプリング周波数	44.1 kHz
ビットレート	固定（必須）56 kbps ~ 320 kbps (推奨：128 kbps 以上)
チャンネル	ステレオ
ファイル名	半角 110 文字まで
ID3 Tag	Ver.1.x まで対応
アルバム名	フォルダ名
曲名	ID3 Tag の曲名
アーティスト名	
アルバム	
フォルダ内に、同じアーティストのみの曲が入っている場合	トラックアーティストの名称
フォルダ内に、いろいろなアーティストの曲が入っている場合	「Various Artist」
曲	ID3 Tag のアーティスト名
対応文字形式	JIS 形式（漢字は第一水準まで）
ナビゲーションが 表示できる 文字数	曲のリスト 再生曲画面 半角 38 文字（全角 19 文字）まで 半角 32 文字（全角 16 文字）まで タイトル表示 半角 30 文字（全角 15 文字）まで
ファイル数	4000 まで
アルバム数	500 まで
階層数	2 階層のみ（ルートフォルダ含む）

- 太字は変更された項目です。

Gracernote データベースについて

2015年6月15日までのGracernoteデータベースに更新されます。

Gracernote 音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracernote®社によって提供されています。Gracernoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracernote®社のホームページwww.gracernote.com をご覧ください。

- Gracernote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ:
copyright © 2000-present Gracernote.
Gracernote Software, copyright © 2000-present Gracernote.
本製品およびサービスには、Gracernoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracernote特許の一覧については、GracernoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracernote, Gracernoteのロゴとロゴタイプ、および
"Powered by Gracernote" ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracernote, Inc.の登録商標または商標です。



● エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracernote, Inc. (以下「Gracernote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracernote社のソフトウェア (以下「Gracernote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracernote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracernote サーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracernote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracernoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracernote ソフトウェアやGracernote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、または Gracernote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracernote データ、Gracernoteソフトウェア、および Gracernote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracernote は、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracernote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracernote, Inc. が本契約上の権利をGracernote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracernote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracernote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracernote のサービスに関する Gracernote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracernote ソフトウェアと Gracernote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用が許諾されるものとします。Gracernote は、Gracernote サーバーにおける全ての Gracernote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracernote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracernote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracernote ソフトウェアまたは Gracernote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracernote ソフトウェアまたは Gracernote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracernote は、将来Gracernote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracernote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracernote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracernote は、お客様による Gracernote ソフトウェアまたは任意の Gracernote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracernote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracernote

商標などについて

- vics® は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- "DVD Logo" は、DVDフォーマットロイヤライセンシング株式会社の商標です。
- iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- BLUETOOTHのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- 「ブッシュトーク」「iモーション」「マルチナンバー」は、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- ETCは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- タウンページ、ハローページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- QR コードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

● MD5 Message-Digest Algorithm

Copyright © 1990, RSA Data Security, Inc.
All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

- 本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、当社はこれを十分尊重いたします。

海賊版・再生品は、平成22年1月の改正著作権法の施行により、オークション市場などでの販売のみならず、出品そのものも違法となり懲役または罰金の対象となっています。オークションなどの個人間の売買品につきましては、当社は品質・性能・機能に責任を負いかねます。

パナソニック お客様ご相談センター

電話



0120-50-8729

※ 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■ 上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511

※ 通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～18:30 (365日)

FAX

045-938-1573

※ 通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～18:30

(土日・祝日・当社休日を除く)

- ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック株式会社
オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社
〒224-8520 横浜市都筑区池辺町 4261 番地